



最優秀団体賞 受賞

東京都

東京都立府中高等学校



7月15日木曜日、漢検協会常任理事 八田香里が東京都立府中高等学校を訪問し、「最優秀団体賞」の授与を行いました。

2021年度は東京都立府中高等学校創立60周年の節目の年なのだと思います。校長先生より、「このような記念すべき年に受賞できて大変光栄です。生徒もみんなとても喜んでいます。」と伺いました。

表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、終業式の後に校長室にて執り行われ、代表として二人の生徒が参加してくださいました。漢検2級を校内一位と二位の得点で合格したことから、代表に選ばれたそうです。ずつしりと重い額に入った賞状と、記念の楯を緊張した面持ちで慎重に受け取ってくださった姿が印象的でした。

代表のお二人より受賞コメントをいただきましたので、ご紹介します。



### 3年 鈴木 光波 さん

私は大学進学のために何かしら資格を取っておきたいと思い、漢検を受けました。私は漢検を取得しておらず、勉強の仕方が分からなかつたので、合格している友だちに勉強の仕方を聞き、問題集と過去問を繰り返し解きました。勉強を始めたばかりの頃は、初めて見る漢字や自分が知っているのとは違った読みをする漢字があり戸惑いましたが、勉強していくうちに知識が身についてきて、問題の形式にも慣れ、高得点で合格することができました。これからもたくさんの漢字に触れてていきたいです。

### 3年 鎌田 栄香 さん

私は今回、準二級を受けてからすぐ二級の勉強を始めたのですが、準二級を受けたときの勉強量では歯がたたないことに驚きました。特に私は、四字熟語や対義語・類義語の意味が全く分かりませんでした。しかし、何度も繰り返し解くうちに、言葉の意味を覚えていくことが楽しくなっていきました。私は、漢検を通して知らなかつた「日本語」を知ることができました。府中高校の生徒だけでなく、たくさんの方に漢検を受けてほしいと思いました。

